

単元名 4 状況の中で ー漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 新しく知識の流入によって翻訳された熟語や、漢字を組み合わせたり、省略したりすることのできる漢字の力について理解することができる。  
(3) 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

12210206\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 漢字の造語力について知り、練習問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★漢字の造語力について知ろう。</li> <li>○ 翻訳語と新しい語について知る。</li> </ul> <p>○ 練習問題 (p. 120～p. 121) に取り組む。</p> <p>○ 「漢字に親しもう3」(p. 122)の問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入文を読み、新しい日本語が考え出された経緯を理解させる。</li> <li>・ 教材文を読み、翻訳語と新しい語という側面から、漢字の造語力について理解を深めさせる。</li> <li>・ 明治時代の様々な訳から、現在の翻訳語を考えさせてもよい。</li> <li>・ インターネットなどを使って、新語を検索させるのもよい。</li> </ul> <p>【評】翻訳語と新しい語について理解する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】練習問題に取り組む、漢字の造語力を確認する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

中学校の最終学年にふさわしく、厳しい状況下に置かれた人間の姿を読み取り、読み深めていきたい。表現の工夫に注意して読んでいく中で、人物や作者の心情だけでなく、彼らがそのように感じ、考えた時代背景にも目を向けさせたい。そうした人間と社会との普遍的な関わりについて考えを深め、自分なりの意見をもたせたい。

また、「故郷」は、道徳のDー (22) 「よりよく生きる喜び」に当たる。